

令和4年度第1回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第105回〔三級自動車シヤシ〕

令和5年1月15日

31 問題用紙

受験番号	受験地	回数			種類		番号			氏名	※
		1	0	5	3	1					

※試験説明で指示された者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入してください。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入してください。ただし、思考席では記入しないでください。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行ってください。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある部品について、次の問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 アナログ・サーキット・テストの適切なレンジを用いて、ルーム・ランプ用のバルブ、リレーのコイル側、回転センサ、ストップ・ランプ・スイッチの各抵抗を測定して、測定値を下表の該当欄に整数(小数点以下を切り捨て)または $\infty$ (記号)で記入し、測定時に用いた最適なレンジを○印で囲みなさい。なお、単位に k や M を書き足さないこと。

測定部品	測定値	最適なレンジ	
バルブ	$\Omega$	$\times 1$ $\times 100$	$\times 10$ $\times 1\text{ k}$
リレーのコイル側	$\Omega$	$\times 1$ $\times 100$	$\times 10$ $\times 1\text{ k}$
回転センサ	$\Omega$	$\times 1$ $\times 100$	$\times 10$ $\times 1\text{ k}$
ストップ・ランプ・スイッチ (ロッドを押し込んだ状態)	$\Omega$	$\times 1$ $\times 100$	$\times 10$ $\times 1\text{ k}$

問題 2 台上にあるシフト・フォーク・シャフトについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 マイクロメータを用いて、シフト・フォーク・シャフトの外径を測定し、測定値を下表の該当欄に、小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
外径	mm

問 2 ダイヤル・ゲージを用いて、シフト・フォーク・シャフトの振れを測定し、測定値を下表の該当欄に記入しなさい。

次に、シフト・フォーク・シャフトの曲がりを求め、該当欄に記入しなさい。

なお、測定値又は計算値は小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

項目	測定値又は計算値
振れ	mm
曲がり	mm

問題 3 台上にある部品について、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 マイクロメータを用いて、ブレーキ・ディスクの厚さをそれぞれの箇所複数測定し、測定値は最小値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
ブレーキ・ディスクの厚さ	mm

問 2 ノギスを用いて、ブレーキ・パッドの残量(厚さ)を複数箇所測定し、測定値は最小値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
ブレーキ・パッドの残量(厚さ)	mm